

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2015-212379(P2015-212379A)

【公開日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-074

【出願番号】特願2015-92566(P2015-92566)

【国際特許分類】

C 09 D 123/08 (2006.01)

C 09 D 123/14 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

B 05 D 7/00 (2006.01)

B 05 D 7/24 (2006.01)

【F I】

C 09 D 123/08

C 09 D 123/14

C 09 D 7/12

B 05 D 7/00 F

B 05 D 7/24 3 0 1 E

B 05 D 7/24 3 0 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

25から110の範囲の融点を有するプロピレン/-オレフィンコポリマー、またはオレフィンブロックコポリマーであるベースポリマーを含むコア；

エチレン-アクリル酸(EAA)、エチレンメチルメタクリレート(EMMA)、エチレンブチルアクリレート(EBAA)およびそれらの組合せからなる群から選択される極性ポリマー性安定剤を含み、前記コアを少なくとも部分的に取り囲むシェル；および

前記シェル中に少なくとも部分的に埋め込まれた少なくとも1種または複数種の無機疎水性粒子状充填剤

を含む分散体を含むコーティング組成物であって、

乾燥した前記分散体によりコートされたセルロース系基材である240g/m²の坪量を有する厚紙が、最大で4.4g/m²のCobb試験による吸水値、及び、25の温度および50パーセントの相対湿度(RH)において24時間当り13.7g/m²以下の水蒸気透過速度を示すものである、コーティング組成物。

【請求項2】

基材及び前記基材の少なくとも1つの表面上にある分散体を含む、コートされた物品であり、

前記分散体は、

25から110の範囲の融点を有するプロピレン/-オレフィンコポリマー、またはオレフィンブロックコポリマーであるベースポリマーを含むコア；

エチレン-アクリル酸(EAA)、エチレンメチルメタクリレート(EMMA)、エチ

レンプチルアクリレート(E B A) およびそれらの組合せからなる群から選択される極性ポリマー性安定剤を含み、前記コアを少なくとも部分的に取り囲むシェル；および、

前記シェル中に少なくとも部分的に埋め込まれた 1 種または複数種の無機疎水性粒子状充填剤を含み、

前記コートされた物品が、乾燥した前記分散体によりコートされたセルロース系基材である 240 g/m^2 の坪量を有する厚紙であって、最大で 4.4 g/m^2 の C o b b 試験による吸水値、及び、25 の温度および 50 パーセントの相対湿度(R H)において 24 時間当り 13.7 g/m^2 以下の水蒸気透過速度を示すものである、物品。

【請求項 3】

コーティング組成物を製造する方法であって、

25 から 110 の範囲の融点を有するプロピレン / - オレフィンコポリマー、またはオレフィンブロックコポリマーであるベースポリマーを選択するステップ；

エチレン - アクリル酸(E A A)、エチレンメチルメタクリレート(E M M A)、エチレンプチルアクリレート(E B A) およびそれらの組合せからなる群から選択される極性ポリマー性安定剤を選択するステップ；

1 種または複数種の無機疎水性粒子状充填剤を選択するステップ；

前記ベースポリマー、前記極性ポリマー性安定剤、および前記 1 種または複数種の無機疎水性粒子状充填剤を溶融ブレンドするステップ；

前記溶融ブレンドされたベースポリマー、極性ポリマー性安定剤および 1 種または複数種の無機疎水性粒子状充填剤を、水の存在下におよび場合により中和剤の存在下に溶融混練するステップ；

それにより、前記ベースポリマーを含むコア；前記極性ポリマー性安定剤を含み、前記コアを少なくとも部分的に取り囲むシェル；および、前記シェル中に少なくとも部分的に埋め込まれた前記 1 種または複数種の無機疎水性粒子状充填剤を含む前記分散体を形成するステップを含み、

乾燥した前記分散体によりコートされたセルロース系基材である 240 g/m^2 の坪量を有する厚紙が、最大で 4.4 g/m^2 の C o b b 試験による吸水値、及び、25 の温度および 50 パーセントの相対湿度(R H)において 24 時間当り 13.7 g/m^2 以下の水蒸気透過速度を示すものである、方法。

【請求項 4】

コートされた物品を作製する方法であって、

セルロース系材料を含む基材を提供するステップ；

25 から 110 の範囲の融点を有するプロピレン / - オレフィンコポリマー、またはオレフィンブロックコポリマーであるベースポリマーを含むコア；エチレン - アクリル酸(E A A)、エチレンメチルメタクリレート(E M M A)、エチレンプチルアクリレート(E B A) およびそれらの組合せからなる群から選択される極性ポリマー性安定剤を含み、前記コアを少なくとも部分的に取り囲むシェル；および、前記シェル中に少なくとも部分的に埋め込まれた 1 種または複数種の無機疎水性粒子状充填剤；を含む分散体を含むコーティング組成物を提供するステップ；

前記コーティング組成物を前記基材の少なくとも 1 つの表面に塗布するステップ；および

それにより前記コートされた物品を作製するステップを含み、

乾燥した前記分散体によりコートされたセルロース系基材である 240 g/m^2 の坪量を有する厚紙が、最大で 4.4 g/m^2 の C o b b 試験による吸水値、及び、25 の温度および 50 パーセントの相対湿度(R H)において 24 時間当り 13.7 g/m^2 以下の水蒸気透過速度を示すものである、方法。

【請求項 5】

無機疎水性粒子状充填剤が、水酸化アルミニウム、アラゴナイト、硫酸バリウム、方解

石、硫酸カルシウム、ドロマイト、水酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム、マグネサイト、粉碎炭酸カルシウム、沈殿炭酸カルシウム、酸化チタン、サチンホワイト、酸化亜鉛、シリカ、アルミナ三水和物、雲母、タルク、粘土、焼成粘土、珪藻土、バテライト、およびそれらの組合せからなる群から選択される、請求項1に記載のコーティング組成物。